

数量	437,853	417,618	104,581	80,904	106,396	57,927	1,205,279	10,761,007
前年比	96.6	128.0	96.2	96.9	98.9	98.7	105.9	95.2

(注) B重油販売量：中部6県0kl、全国0kl。出所：石油連盟「都道府県別石油製品販売実績」

た。軽油は6県合計32万2631誌(97・5%)と前年割れに転じた。6県すべてで0・2〜2・7%減少した。A重油の6県合計は7万8493誌(90・9%)で3カ月連続前年割れ。富山で5・9%、福井で10・2%それぞれ増加したが、愛知県で18%減少したほか、それ以外の3県では1・8〜9・8%下回った。



サーモン水揚げの様子

「知多クルーサーモン」を取り扱う名古屋市内のスーパーの担当者「売れ行きは好調。地元根差す企業として、地元のサーモンを取り扱いたい。輸入サーモンと比較して、さっぱりした味わいで、うまみがしっかり出ており臭みも少ない。自信をもってお客さまにおすすめていきたい」と話している。



研修の様子

三河湾渚シンポ開催 「アサリ再生」への意見交換

【豊橋市＝愛知】減少が著しいアサリの再生を考える第2回三河湾渚シンポジウムが20日、豊橋市内で開催され、マルシメ(ENEOS系)本社豊橋市・大熊康丈社長)など地元企業の関係者ら約50人が熱心に意見交換した。

スタートアップ支援にも力を入れるマルシメは、海洋環境の調査・研究を行うベンチャー企業イノカ(本社東京)と共催で前回、三河湾における持続可能な海洋資源の活用を目指してキックオフイベントを開催した。今回はそれら成果を踏まえて、三河湾でも

とくに問題になっているアサリの減少をテーマに掲げ、イノカの主催で第2回シンポジウムを企画した。

同日は、竹内四季イノカ取締役COOが白社の活動や今回のシンポジウムの趣旨について説明した後、増田直記同社取締役CAOが「三河湾とアサリにつ

いて」と題して基調講演した。

増田氏は、愛知県が全国一のアサリの漁獲量を誇り、それらは主に三河湾で採取されていると説明。しかし漁獲量は年々減少し続けており、このままでは危機的状況になるとあらためて指摘した。そのうえでアサリの飼育システムや環境改善方法の模索はもとより、さまざまなアイデアや知見を収集・蓄積しながら、改善に向けて試行していくことの必要も出た。

性などを強調した。続いて会場参加型のワークショップを行い、三河湾渚のアサリの発生水域として知られる六条渚の歴史や現状なども紹介しながら、今後の取り組みなどについてディスカッションした。そのなかで企業や行政、団体など垣根を越えた連携の重要性や、地元食文化との融合といった多彩なアプローチによるアサリ再生プロジェクトの活性化を求める意見も出た。

6月全
9円値下
石川
け契

【金沢】石川(吉原債管理書石川県庁向け)受注単価6月公に決まった。くらべて全地種で9円下が地域別契約約費税抜き・軽油込み)は次の

◎金沢地域
ク165円
1155円
8円

◎かほく市
(白山麓地域)ハイオク1レギュラー1軽油138円

◎中能登地
ク169円
1159円
42円

◎奥能登・城ハイオクレギュラー1軽油145円

行、大幅値下げ 200円前後の可能性も

た。管内22措置開始前23日)のハ14円、レ202円77

ラー192円64銭、軽油172円77銭にそれぞれ値下がりした。今年に入ってから最高値は4月5〜11日再び値上がりがする可能性が高い。

元売仕切りの19日改定で4円50銭値上がりし、関係筋によると翌週の26日改定でもさらに値上がりする可能性があるという。石破首相が26日か

のハイオク220円14銭、レギュラー209円14銭、軽油188円9銭。先週までの3カ月弱でハイオク16円28

管内SSのうち直近(6月14〜20日)のレギュラー最高値は194円。元売仕切りの19日改定で消費税を含む値上がり分は4円95銭のため、仕入れ上昇分が転嫁されれば199円になる。



ワークショップの様子

洗車機メーカーのセミナーで学んだ「リピーターづくりの重要性」にあったという。

長谷川社長は「リピーターや固定客を増やすには、まずお客さまとの距離を縮めること。そのためには、まず自分たちを知ってもらいたいと考えた」と話している。



マルシメ（本社豊橋市・大熊康文社長）グループのフルサービスSS、SOLTATO新城インターSS（太陽石油系新城市）は、廃食油由来のバイオディーゼル燃料を5%軽油に混合した「B5軽油」の販売を6月から本格的に開始した。

同社によると、太陽石油（東京都）の同意を得て中部エコバイオ合同会社（小牧市）製のB5軽油を販売するもので、同

Today's TOPICS

マルシメグループ バイオ燃料に着手

「B5軽油」販売本格化

社グループはもとより太陽石油系列のSSとして、B5軽油は、2009年の品確法改正にともない承認され、以降通常の軽油と同等に市販のディーゼル車にも使用できるようになった。

車両自体も特別な仕様変更が不要のうえ、混合したバイオ燃料5%分のCO₂（二酸化炭素）排出量が抑制されることから、脱炭素化への貢献が期待されている。

同SSには軽油用の地下タンクが合計2基（1基10基）あり、このうち

B5軽油をPRする大熊社長



販売実績はこれからだ

「火気厳禁」の注意書きがある。B5軽油をPRする大熊社長

SOLTATO新城インター 太陽石油系SSで初導入

上||長谷川新聞。下||新聞を持つ本堂店長左と長谷川社長



燃料油以外でも来店した「別表参照」

県別にみると、愛知県43万7853基（96・6%）、三重県41万7618基（128・8%）、岐阜県10万4581基（96・2%）、富山県8万904基（96・9%）、石川県10万6396基（98・9%）、福井県5万7927基（98

中部6県石油販売実績（令和7年4月分）

県名		愛知県	三重県	岐阜県	富山県	石川県	福井県	合計
ガソリン	数量	210,446	93,414	57,041	29,058	45,776	24,011	459,746
	前年比	96.7	94.2	94.8	93.1	95.4	96.2	95.6
ナフサ	数量	10,233	177,327	—	10	24	—	187,594
	前年比	111.0	218.2	—	41.7	100.0	—	207.2
ジェット燃料油	数量	14,035	12,909	1,222	368	7,686	1	36,221
	前年比	88.7	91.1	91.0	91.1	91.2	100.0	90.2
灯油	数量	18,903	12,724	5,342	9,362	11,577	5,468	63,376
	前年比	95.2	96.8	91.1	92.4	120.9	90.7	98.1
軽油	数量	138,061	75,891	33,923	25,203	30,210	19,343	322,631
	前年比	97.3	97.0	98.3	96.8	99.8	96.9	97.5
A重油	数量	30,194	16,201	5,371	9,019	10,960	6,748	78,493
	前年比	82.0	90.2	93.0	105.9	98.2	110.2	90.9

東海地区高速道SS

【名古屋】中日本高速道路調へによる東海地区SA（サービスエリア）、PA（パーキングエリア）SSの販売価格は、政府の燃料油に対する補助事業が定額引き下げ措置への移行にともない大幅に値下がりした。しかし足元では原油高騰により仕入価格が値上がりしており、今後の転嫁

制度

仕切りレギュラー

SSはレギュラーガソリンで再び200円前後にまで上昇する可能性が出てきた。定額引き下げ措置はガソリン、軽油のいずれも開始から4週目で、支援額の10円に到達し、その間、東海地区SA・SS、PA・SSの販売価格は大幅に値下